



「自分たちでできることは すべてやる」 海南市塩津区防災会の取り組み

かいなんししおつ くぼうさいかい
海南市塩津区防災会

- 設立年
平成 15 年 12 月
- 代表者
会長 東海義弘 氏
- 構成人数
区民 549 名、うち自主防災会役員 42 名
- 所在地
和歌山県海南市下津町塩津
- 連絡先
TEL:073-492-2576
E-mail:shiotuku@bz03.plala.or.jp
- 取組開始年月
平成 15 年 12 月



団体概要

自治会役員、地区消防団、漁業組合、水産加工組合、地区老人会、学校 PTA 等地域の 10 団体で構成。運営は防災役員会で検討し、各班長は隣保班の班長がなる。

背景

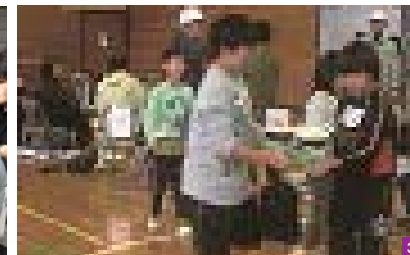
塩津区防災会は、平成 15 年 12 月に自主防災組織として結成され、「自分たちでできることはすべてやる」を合言葉に、柔軟な発想で、地域一体となり力を合わせて、これまで地域を守るための各種防災活動に取り組んできた。

取組の内容

主な取組としては、津波避難訓練や安否確認訓練、避難所運営訓練等の各種訓練の他、対外活動として年 1 回以上の県外視察や毎月の防災設備及び資機材の点検・整備を行っている。また、台風や大雨等による警報発表時には、地区内のパトロール等を実施し、被害の防止に努めている。

成果

県内外から講師を招き、防災講習会等を積極的に実施する等、地区の高齢化が進む中、地域一体となって防災の必要性を訴えることで、次第に地域住民の防災意識の高まりと防災活動への理解・参加が進み、地区全体での取組として定着している。また、県や市の防災研修会等で取組を発表する等、他地域の模範かつ指導的な立場となっている。



1 【安否確認訓練】避難後の防災委員による安否確認の様子
2 【津波避難訓練】海南市一斉防災訓練にて地区で設定した津波避難場所へ避難する様子
3 【避難所運営訓練】地区内の小学校体育館での避難所運営訓練にて非常食の配給に児童が参加する様子
4 【県外研修】視察先の兵庫県広域防災センターにて防災講座を受講する様子

選定委員 Comment

海南市塩津区防災会は平成15年12月に南海地震対策として結成された自主防災組織である。この団体は「自分たちでできることはすべてやる」を合言葉に地域一体となり力を合わせ、地域を守るための防災活動に取り組んできた。特に津波対策については避難訓練や安否確認訓練、避難所運営訓練等の各種訓練をまちぐるみ

で行っており、その参加率は全住民の約80%にも上る。避難行動については、初めに高台の寺に緊急避難的に移動し、その後最終的な避難場所である小学校に向かうといった2段階避難を前提とした訓練を積み重ねており、訓練後の振り返り時にできることはすべてやる」を合言葉に地域一体となり力を合わせ、地域を守るための防災活動に取り組んできた。特に津波対策については避難訓練や安否確認訓練、避難所運営訓練等の各種訓練をまちぐるみ

で行っており、その参加率は全住民の約80%にも上る。避難行動については、初めに高台の寺に緊急避難的に移動し、その後最終的な避難場所である小学校に向かうといった2段階避難を前提とした訓練を積み重ねており、訓練後の振り返り時にできることはすべてやる」を合言葉に地域一体となり力を合わせ、地域を守るための防災活動に取り組んできた。特に津波対策については避難訓練や安否確認訓練、避難所運営訓練等の各種訓練をまちぐるみ

